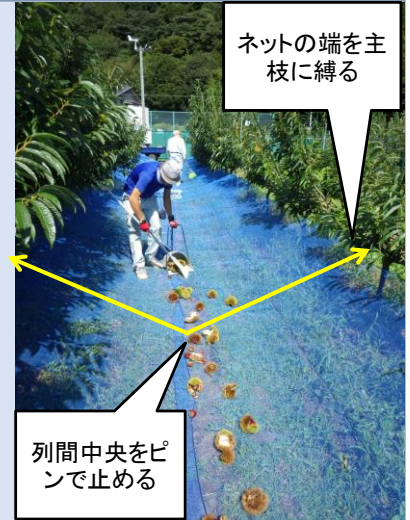


クリのジョイント樹形に対応した 低コストの樹形管理と防除技術

技術の概要

クリは省力栽培可能な果樹ですが、収穫作業は非常に労力がかかります。ジョイント栽培は直線的な管理が可能となり、さらにネットを設置して収穫しやすい場所に果実を集めることでさらなる省力化が可能となります。

樹形	収穫法	果実1kg当り (削減率)
ジョイント	ネット収穫	2分23秒 (-31.6%)
	慣行	2分33秒 (-22.6%)
立木	慣行	3分19秒



ジョイント樹形は、防除においても慣行栽培と比較して、農薬散布量を大幅に削減出来ることが明らかとなりました。

試験区	①	②	③	④	⑤	慣行区
ノズル数(片側)	4	4	5	5	6	6
散布速度(km/h)	2.53	1.67	2.53	2.53	2.53	1.67
ファン送風	あり	あり	あり	なし	なし	あり
散布時風速	1	1.2	1.4	1.4	0.6	0.8
散布量(L/10a)	169	256	200	200	221	335
薬剤付着面積率	63.7	74.6	80.2	63.7	80.1	84.5

期待される効果

ジョイント樹形によって、慣行栽培と比較して、**収穫時間を20-30%、
薬剤散布量を30-40%程度削減**することが可能になると期待されます。

【お問い合わせ先】 神奈川県農業技術センター
生産技術部果樹花き研究課
担当 関 (0463-58-0333)

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。